

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
主な質疑	3
6月定例会 議案等審議結果一覧	4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会
編集
議会広報委員会
事務局
☎0287-88-7114



コロナに負けるな！七合小学校運動会

6月定例会が6月1日(火)に
招集され、6月8日(火)までの
8日間の会期で行われました。提
出された議案等の審議の結果は4
ページに掲載しています。
※議決された議案の内容など、詳しくは「広報なすか
らすやま第190号」をご覧ください。
会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

一般質問議員と質問項目(質問順)

村上 進一 議員

- 「なすから特派員」の現状と今後の活動について
- 市内運動施設の「ネーミングライツ」導入について
- 子供たちを取り巻く環境悪化に対する対策について
- 「新型コロナウイルス感染症」に係るワクチン接種事業について

中山 五男 議員

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 公金支出の責任について
- 教育長及び教育委員会の責務について

青木 敏久 議員

- 移動困難者対策等における自転車活用推進について
- 本市におけるLINEによる行政サービスの情報管理と利用について
- 教員の不祥事案における本市の取り組みについて
- 消防団員待遇改善の取り組みについて

滝口 貴史 議員

- 市長1期目の成果と課題及び今後の進退について
- 非常勤特別職の報酬及び費用弁償について
- 本市の小中学校施設の将来像について
- 国民体育大会について

平塚 英教 議員

- 那珂川緊急治水対策プロジェクトについて
- 本市の防災対策について
- 新型コロナウイルス対策について
- 市内高齢者の見守り対策について
- 本市の空き家対策について

渋井 由放 議員

- 認定こども園建設と交差点改良について
- こみの減量化について
- 龍門ふるさと民芸館リニューアルオープンについて
- 都市公園と地方交付税について
- 避難行動要支援者の避難について

堀江 清一 議員

- 新型コロナウイルスワクチン接種について
- 「防災Infoなすからすやま」の現況について

沼田 邦彦 議員

- コロナ禍における主要施策の優先順位と取り組みについて

小堀 道和 議員

- 市民に寄り添う本市独自のボランティア活動補償制度制定について
- 本市の女性活躍と男女共同参画について

福田 長弘 議員

- コロナ禍における市内事業所に対する支援策について
- コロナ禍における学校運営について
- いちご一会とちき国体について

矢板 清枝 議員

- 結婚から子育てに至る支援の充実について
- 自転車保険加入の促進を求めるところの取り組みについて
- 地方創生臨時交付金の活用について



※赤字になつている項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

議会の動き

令和3年4月

24日○議会だより第60号発行

5月

18日○文教福祉常任委員会

25日○議会運営委員会
○議員全員協議会

27日○防災対策調査特別委員会

6月

1日○第3回6月定例会
(6月8日まで)

2日○議会広報委員会

3日○文教福祉常任委員会

4日○議会改革特別委員会

8日○議会運営委員会
○議員全員協議会

○庁舎整備検討特別委員会

30日○議員全員協議会

7月

9日○議会広報委員会
16日○議会広報委員会
○防災対策調査特別委員会
○議員全員協議会

令和3年6月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。
一般質問の記事は各議員が作成しています。

村上進一議員

市内運動施設の「ネーミングライツ」導入について

(問) ネーミングライツは県の「カンセキスタジアム」の様に、施設に愛称を命名する権利であり、この権利を取得した事業者からネーミングライツ料を納めてもらい、財源確保を図るとともに、官民連携による相互活性化を目指すものである。



令和4年度に開催される国体の会場となる緑地運動公園

来年間催されるいちご一会とちぎ国体のアーチェリー競技が緑地運動公園で実施される。国体のPRや、市民にスポーツを身近に感じてもらうために、また市

内運動施設の整備財源としてネーミングライツを導入してはと考えるが市長の見解を伺う。
(答) ネーミングライツは新しい財源を生み出す方策の一つであり、地域経済の活性化を図る手段でもあり。県内でも7つの市で実施または基本方針を作成しているが、市民の合意が得られない等の問題も多い。今後、導入を見据えて、先進事例を参考に調査研究を進める。また、運動施設の環境整備について全力を尽くして対応したい。

中山五男議員

新型コロナウイルス感染症対策について

(問) ワクチン接種券を本市の65歳以上の高齢者約9600人宛て一斉送付したが、第1回ワクチン配分枠がわずかに1300人ほどで、その競争倍率は、7.4倍の超狭き門であった。そこで、予約をめぐる混乱を招いた上、望みを絶たれた高齢者からは、失望と行政不信の声が上がっていた。市民は誰しも一刻も早くワクチン接種を済ませ、長く続くコロナの脅威から免れたいと願っている。

高齢者のワクチン接種が済めば、次は64歳以下16歳までの住民約1万4千人宛て接種券送付が始まる。この年齢層は学生や勤労者が主になるが、今後の接種に向け、いかなる方策をお持ちか、伺いたい。
(答) 皆さんに不安を与え

たことは本当に反省している。64歳以下の接種券発送方法は、混乱を招かないよう、発送方法や予約等を国、県、また他市町の状況を参考にしながら検討を進めたいと考えている。さらに、議会からの意見などを参考に改善を図りたい。



ワクチン接種予約を支援する商工会青年部

青木敏久議員

移動困難者対策等における自転車活用推進について

(問) 自転車を利用した観光周遊は、本市のキャッチフレーズ「五感で楽しむ那須烏山」に非常にマッチしている。レンタサイクルを活用した観光周遊を、積極的に推進してはどうか伺う。

(答) 現在制作中の観光プロモーション動画の中で、レンタサイクルを利用した観光周遊の映像を取り入れていく予定である。併せて、観光パンフレット等の中で、積極的なPRを展開し、レンタサイクルの利用促進を図るとともに、観光周遊を推進していきたい。
(問) 消防団員待遇改善の取り組みについて
(答) 消防庁は、消防団員

の減少に歯止めをかけるべく、出勤報酬や一般団員の年額報酬の見直しを促す待遇改善策を通知した。本市の取り組みについて伺う。
(答) 一般団員の年額報酬に関しては、本市の合併以来、見直しは行われていない。消防団の再編成を視野に入れ、報酬の見直し、団員個人への直接支給も含めて、年度内には何らかの方向性を示したい。

滝口貴史議員

本市の小中学校施設の将来像について

(問) 令和3年度から、学校運営協議会が始まり、市内小中学校について地域間連携議論が生まれてくると思う。今後、児童・生徒の減少傾向が予想される中、本市小中学校の施設について、統廃合を含めた短期的・長期的な視点から、将来像について伺う。

(答) 学校の再編については、平成25年3月に学校再編検討委員会より、学校再編整備に関する答申をいただいた。その後、平成27年4月に下江川中学校と荒川中学校を統合し、現在の南那須中学校が新設され、現在の中学校2校、小学校5校の体制が完成した。前回の答申から8年が経過し、さらに児童・生徒の減少が進んでいることから、令和3年度中に学校再編検討委員会を立ち上げ、学校再編整備に関する答申をいただいた上で、学校の適正配置や学校再編の具



平成27年に統合した南那須中学校

体的対策について検討を行う。

平塚英教議員

那珂川緊急治水対策プロジェクトについて

(問) 令和元年東日本台風の甚大な被害を受け、那珂川の豪雨増水による浸水被害を防ぐため、国、県と那珂川沿線市町で那珂川緊急治水対策プロジェクトをまとめ、昨年より推進している。本市においては下境地区に霞堤の整備を予定しており、地元説明会を開催し、霞堤設計のための測量等が実施されたが、地元住民への再説明会をどのように開催するのか伺う。

(答) 霞堤の整備は、事業主体の常陸河川国道事務所で測量調査を実施し、調査に基づいて整備設計案の地元説明会を開催する予定である。コロナ禍の中、密にならない会場の設定や実施回数、参加人数等について、地元自治会や常陸河川国道事務所と協議している。なるべく早い時期に開催できるように調整する。
(問) 防災集団移転促進事業のアンケート集約状況と

今後の進め方について伺う。
(答) 下境地区と宮原地区全世帯対象に調査票を送付し、3月31日時点の回収率は約70%である。今後は地域住民の合意形成を図るため、個別相談会や地元説明会を複数回開催していく。

渋井由放議員

都市公園と地方交付税について

(問) 都市公園の面積は、地方交付税算定の測定単位となっているため、都市公園の面積が増えれば、地方交付税が増える。清水川せせらぎ公園の改修計画をする前に、都市公園化を調査し計画するのが当然のことと思うが市長の見解を伺う。
(答) 都市公園は、面積が地方交付税の算定基準となっているだけでなく、修繕などに国庫補助金等を活用する場合は都市公園であることが条件となるため有利な財源を確保することができると考えている。将来的な土地利用を見据え都市公園化に向けた検討も行ってまいりたい。

(問) 執行部は、間違いがないと思って仕事をしているが誰でも間違いはある。大きな予算を組む時は、有利な財源確保ができるかを常々検討すべきと思う。都市公園化にして面積を増やして、地方交付税をもらえようという手配を速やかに行ってもらいたい。
(答) 都市計画区域内の全域をよく調査して都市公園化に向け調査研究をしてまいりたい。

福田長弘議員

コロナ禍における市内事業所に対する支援策について

(問) これまでの事業所に対する本市の支援策の成果について伺う。
(答) 事業者向け支援として、市単独では商工会と連携しプレミアム付商品券発行・感染防止対策支援金など、大小含め10事業程度の支援策を実施した。市内事業所の現状としては、把握している限り、コロナ禍を原因とした廃業・倒産は1件であり、雇用の維持は図られていると考えている。もちろん、国や県をはじめ、市からの支援策も市内事業所の事業継続の一助になっていると考えている。

いちご一会とちぎ国体について

(問) リハーサル大会が本市でも開催予定である、準備状況について伺う。
(答) 現在は大会要項を策定し、各都道府県アーチェリー協会に案内を行い、参加者の募集を行っているところである。新型コロナウイルス感染症対策は、連盟から示されたガイドラインを基本に、栃木県アーチェリー協会と協議を進めている。

堀江清一議員

新型コロナウイルスワクチン接種について

(問) ワクチン接種の予約変混乱した原因はどこに

あったのか何う。

(答) 他の自治体の状況を見る時間が無く、先頭を切って一番で接種券を発送したことが勇み足だった。

(問) これだけ重要な案件を担っている担当課長の異動は、非常に問題である。この人事異動を決定したのは誰か何う。

(答) 市長の私である。重要な案件を担当課長が担っていることは重々分かっている。組織編成を変えてワクチン接種に特化した体制作りを考えている。

「防災Infoなすからすやま」の現況について

(問) 2月13日の震度5弱の地震発生時、防災Infoなすからすやまの配信が43分も遅れたが、庁舎の停電により通信機器が使用できなかったことは事実か何う。

(答) 停電により通信機器が使用できなかったため、職員個人の携帯端末から配信したことは事実である。

沼田 邦彦 議員

コロナ禍における主要施策の優先順位と取り組みについて

(問) 新庁舎整備について特別委員会が予想を遥かに超える概算工費が示されたが不確定要素が多く、さらに事業費が膨張することとは明白である。一度立ち止まり、コロナ対策に集中し大型事業に優先順位を付けて取り組むべきではないか。

(答) 市政運営の責任者として不測の事態に備えて庁舎整備を進めていくことは当然の責務である。市民の安心安全を確保するために必要不可欠な事業として着実に進める所存である。

(問) 道の駅実現による相乗効果は計り知れない。コロナ終息後の地域振興起爆剤として休眠状態にある基本構想を復活させるべきだと考える。民間企業、金融機関、JAなど各種団体と連携しオール那須烏山体制で調査研究に取り組みすべきではないか。

(答) 農業生産者の期待が小さく、大きな財源を投入し整備することは時期早尚であり、既存の施設を最大限活用し賑わいを創出することが可能であるという結論に達したところである。

小堀 道和 議員

市民に寄り添う本市独自のボランティア活動補償制度制定について

(問) 令和元年9月の定例会一般質問で、災害ボランティア保険を含め本市の市民全員を対象としたボランティア保険加入を検討すると市長が答弁したが検討されなかった。地域活動や奉仕活動など無報酬で行う公益性あるほとんどのボランティア活動を補償している鹿沼市などを参考に、改めて本市独自の補償制度を導入すべきと思う。本市は人口減少が著しく、財政も厳しく職員数も減少させねばならない。市民に相当な部分までボランティアとして

担ってもらふ必要があり、市民に寄り添うボランティア保険の充実が求められるが見解を伺う。
(答) 検討されなかったこととおおむね市民が享受する行政サービス等は今後、行政だけで維持していくことは困難になる。行政と市民の役割分担のもと、公共的サービスを効率的に提供する協働の仕組み構築を目指しているが、取組の過程の中で、ボランティア保険のニーズについて調査研究していく。

矢板 清枝 議員

結婚から子育てに至る支援の充実について

(問) 令和2年度の出生率は大幅に減少した。このままでは、本市の将来が危惧される。今年度の重点政策のうち施設整備を除く新規事業について伺う。

(答) 1つ目は、ようこそ！なすから赤ちゃん応援事業である。令和3年4月1日以降に誕生した本市に住所登録のある0歳児の保護者におむつやミルク等と引換えができる券を1人当たり最大3万6千円交付する。



那須烏山市へようこそ！

2つ目は、不妊治療助成の拡充である。今年度から助成額の上限を年額20万円から30万円に増額し、男性不妊症、不妊症の検査、不育症治療を加えた。

3つ目は、産前産後サポート事業である。助産師等の専門職が心身の最も不安な状況にある産後4か月までの母子を中心に支援する。

4つ目は、とちぎ結婚支援センターの登録費用を補助する事業である。令和3年4月1日以降に入会し、婚姻後に継続して本市に居住することを希望する市民に対し、1人につき1回最大5千円を補助する。

6月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
陳情書第1号	国に対して「妊産婦医療費助成制度」を創設するよう意見書提出を求める陳情書	なし	採択

9月定例会は、9月7日(火)開会予定です

※正式な日程は8月31日(火)に開催される議会運営委員会で決定されます。

6月定例会の本会議日程と傍聴者数

月日	内容	傍聴者数
6月1日(火)	開会・報告・上程・採決・付託	2人
6月2日(水)	一般質問	5人
6月3日(木)	一般質問	13人
6月4日(金)	一般質問	39人
6月8日(火)	上程・報告・採決・閉会	1人
計		60人

表彰



表彰を受けた久保居議員(左)と中山議員(右)

第97回全国国市議会議長会定期総会において、中山五男議員は議員在職20年以上、久保居光一郎議員は議員在職15年以上の功績で表彰を受け、6月8日定例会最終日に議場にて授与式を行いました。

主な質疑

那須烏山市国民健康保険条例の一部改正について

議員 地方税法施行令の一部改正により国保税賦課限度額が上がっていることについて伺う。

答弁 限度額が改正になり、約170万円増額となる。しかし、軽減措置の対象世帯が増え、約120万円減額となる。また、所得割額を算出するための基礎控除相当分を引き上げることによりトータルで500万円減額となる。

令和3年度那須烏山市一般会計補正予算(第3号)について

議員 教育情報ネットワーク整備事業費379万9千円について、タブレットを児童生徒に1人1台ずつ貸与し授業を進めているが、大型モニターを購入して、どのように活用されるのか。また、小中学校に何台設置するのかを伺う。

答弁 市内の小中学校の授業で先生のパソコン画面を大型モニターに映し出すという使い方を考えている。また、学校が休校になった際にはオンライン授業で、先生が生徒の映像を大型モニターに映し出し、自宅にいる児童生徒の様子分かるようにする使い方を検討している。モニターとスタンドを小学校に11台、中学

6月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

議員 学校給食センター運営費2500万円は、給食費の一部を安くするためか、そうであればいくらか助成するのか伺う。

答弁 今年度の2学期と3学期7カ月分の小中学校の児童生徒の給食費を毎月2千円減額し、その減額分を市が補填するものである。児童生徒1人当たり1万4千円の減額となる。財源は地方創生臨時交付金とすることで予定している。

議員 新型コロナウイルスワクチン接種について、キャンセルが出た場合、多くの市民や、外部の人とも対応しなければならぬ市職員の健康を一番に考え、職員が接種してはどうか。

答弁 ワクチン接種会場に従事している職員を重点的に接種するように、医療関係者にも言われている。ワクチン接種会場でも1人でも感染者が出た場合、会場が使えなくなるので、議員の意見も踏まえ、検討したい。



市内小中学校に導入予定の大型モニター

6月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)

議案等			審議結果	議案等			審議結果
報告第1号	令和2年度那須烏山市一般会計繰越明許費繰越計算書について		報告	議案第7号	那須烏山市税条例の一部改正について		可決
報告第2号	令和2年度那須烏山市一般会計事故繰越し繰越計算書について		報告	議案第9号	那須烏山市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について		可決
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度那須烏山市一般会計補正予算(第9号))について		承認	議案第10号	那須烏山市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について		可決
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度那須烏山市一般会計補正予算(第1号))について		承認	議案第11号	那須烏山市国民健康保険条例の一部改正について		可決
議案第4号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度那須烏山市一般会計補正予算(第2号))について		承認	議案第12号	那須烏山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		可決
議案第5号	専決処分の承認を求めることについて(那須烏山市税条例等の一部改正について)		承認	議案第13号	那須烏山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		可決
議案第14号	人権擁護委員候補者の推薦について		同意	議案第1号	令和3年度那須烏山市一般会計補正予算(第3号)について		可決
議案第15号	那須烏山市農業委員会委員の任命同意について		同意	議案第16号	訴えの提起について		可決
議案第6号	那須烏山市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について		可決				

※掲載は採決順。

(起立による採決)

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																	
		青木敏久	興野一美	堀江清一	荒井浩二	福田長弘	村上進一	矢板清枝	滝口貴史	小堀道和	相馬正典	田島信二	渋谷由放	久保居光一郎	沼田邦彦	中山五男	高田悦男	平塚英教	
議案第8号	那須烏山市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席 ※掲載は採決順で久保居議長は表決に加わらない。

令和元年東日本台風 災害における課題と 今後の災害対応に関する提言書

避難所の設置について

令和元年10月12日午後1時、災害対策本部設置と同時に、避難所4カ所(烏山公民館、保健福祉センター、烏山南公民館、旧境保育園)が開設されたが、旧境保育園は、ハザードマップで浸水想定区域に指定されていたにもかかわらず開設された。翌13日午前1時45分に二次避難を余儀なくされ雨の降るなか、境公民館に避難した。事故は起きずに避難はできたが、危険かつ重大な懸案事項である。

避難所設置に当たっては、平常時からハザードマップを検証して、水害のみならず地震、火事等を含め確認しておくことが必要である。また、責任の所在をはっきりと示すべきである。

加えて、避難に当たっては、避難者、特に支援を必要とする災害時要援護者の方が、適切かつ安全に避難できるように十分に配慮すべきである。

城東地区排水樋管について

城東地区排水樋管の閉鎖が遅れ、城東地区が浸水した。それにより、一般の住居・店舗と城東浄水場が浸水し4日断水したことは、市民生活に混乱をきたした重大な懸案事項である。については、洪水時を想定

した城東地区排水樋管の閉鎖訓練を実施するとともに、排水ポンプの定期点検を行うことが必要である。また、責任の所在をはっきりと示すべきである。

その他

下水道は冠水寸前であった。冠水した場合を想定した計画を策定し対策を立てるべきである。

公用車等が水没したが、退避する場所等を事前に検討すべきである。

被災や避難した方々、災害の支援をいただいた自治会関係者、ボランティア参加者等から御意見をいただき、那須烏山市として課題を見出し、速やかに今後の災害対応策を取りまとめるべきである。

防災行政無線整備に関する要望書

本市では、防災行政情報伝達手段として、南那須地区のアナログ方式による防災行政無線と、令和元年10月から運用している、防災行政情報をスマートフォンや戸別受信機に伝達するシステムである「防災Info」なすからすやま」などが整備されている。

現在、市執行部においては、アナログ方式による防災行政無線が令和4年11月30日に終了となることから、防災行政情報伝達手段を集約し、「防災Infoなすからすやま」のスマートフォンへの登録の推進と、戸別受信機の貸与拡大を図っているところである

が、災害時において市民の生命と財産を守るためには、防災行政情報伝達手段を可能な限り多重化し、市民に対し、確実に必要な情報を伝達しなければならぬ。

については、市執行部に対し、次の事項について強く要望する。

・「防災Infoなすからすやま」をさらに普及するとともに、デジタル方式による防災行政無線を整備すること。

・防災行政無線の整備に当たっては、財源確保のため、緊急防災・減災事業債の活用を検討すること。



防災対策調査特別委員会から市長に提言書、要望書を提出

庁舎整備に関する要望書

市は、庁舎整備基本構想(素案)として庁舎の立地場所を5候補地選定し、その中で最も評価の高いことを示した中央公園に新築する案を庁舎整備等検討委員会に諮問したとあるとの答申をいただいた。

その内容を説明するべく、住民説明会を12カ所で開催し市民の意見を聴取するとともに、市議会庁舎整備検討特別委員会で説明が行われ、委員会として議論を重



庁舎整備検討特別委員会から市長に要望書を提出

ねたが意見がまとまらないまま中間報告書を市長あて提出した。

その後、委員会は13回開催され、調査研究を進めたが、各議員の意見は様々で集約することができず、この間3年の時間を費やし、調査研究を深めたことで議論は尽くされたものと考えられる。今後は、当初計画より遅れが生じていることから素案を案として速やかにパブリックコメントを実施し、重要な案件であることから意見の提出期間に多くの日数を確保して市民から様々な意見をいただくよう努められたい。その後、那須烏山市の事務所の位置等に関する条例」の改正をできるだけ早い時期に市議会に提出することを要望する。

「防災対策調査特別委員会」を設置しました。令和元年東日本台風による災害を検証し、再発防止を講ずるための提言書及び防災行政無線を市内全域に設置するべく要望書を取りまとめ、市長に提出しました。これからも市議会は市民の安全安心の為に全力で取り組んでまいります。

(堀江清一議員)

あしがき

ギリギリとした夏の日差しが降り注ぐ頃となり5月から始まった、新型コロナウイルスワクチン接種が順調に進んでおります。

当初、予約が取れないとの声が多く、大変、混乱が起きてしまいました。市が地域指定や、年齢順などの対策を取っていたら、混乱を防げたのかもしれない。何より、市民の安全安心の為にワクチン接種は出来るだけ早く、出来るだけ多くの市民が接種する事が必要であります。

市議会は3月定例会から「防災対策調査特別委員会」を設置しました。令和元年東日本台風による災害を検証し、再発防止を講ずるための提言書及び防災行政無線を市内全域に設置するべく要望書を取りまとめ、市長に提出しました。これからも市議会は市民の安全安心の為に全力で取り組んでまいります。

久保居光一郎議長御逝去



久保居光一郎議長(満72歳)が、去る令和3年7月2日に御逝去されました。

平成18年に初当選以来、4期にわたり市政発展のため尽力され、これまでに副議長や経済建設常任委員長等の重責を担われ、令和2年6月から議長に就任されていました。ここに謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

